

河南町文化財調査報告第2冊

大阪芸術大学グラウンド等造成に伴う  
東山遺跡発掘調査報告書

1998年 9月

河南町教育委員会



94年度調査地遠景（西から）



94年度調査地遠景（西から）



1号土塚墓全景（南西から）



2号土塚墓全景（北東から）



1号土塚墓出土鏡 (径6.5cm)



2号土塚墓出土鏡 (径8.1cm)

2号土塚墓出土鉄製品

左 : 鎧 (長さ24.7cm)

中央 : 剣 (残存長15.6cm)

右 : 斧 (長さ7.7cm)



(財) 大阪府文化財調査研究センター提供

## は し が き

大阪府の東南部、河南町と太子町にまたがる丘陵上には、高安千塚、平尾山千塚と並ぶ、府下でも有数な群集墳として知られる一須賀古墳群が分布しています。また、周辺には7世紀の王陵をはじめ官人層の墳墓も多く分布しており、古代国家成立期のわが国において重要な地域であったといえます。

昭和40年代前半の高度経済成長の波は南河内にも押し寄せました。河南町でもこの一須賀古墳群の一面で宅地造成をする計画が持ち上がり、大阪府教育委員会による分布調査が行われ、古墳以外にも弥生式土器の散布地と窯跡が確認されました。これが東山遺跡発見の発端であります。その後の発掘調査で弥生土器の散布地は弥生時代の大規模な集落であることがわかりました。弥生時代の集落跡は宅地造成工事によって消滅しましたが、開発計画地のうち古墳が密集する29haは大阪府により公有化され、昭和61年に府立近つ飛鳥風土記の丘として公開されました。また、平成6年には風土記の丘に隣接して府立近つ飛鳥博物館もオープンし、貴重な文化遺産が広く公開されることとなりました。

昭和39年に浪速芸術大学として河南町東山に開校された大阪芸術大学では、グラウンド及び体育館用地を造成することとなり、昭和59年に大阪府教育委員会による試掘調査が行われ弥生時代後期の建物や古墳がみつかりました。これを受けて河南町教育委員会では昭和61年度から、途中の中断期間もありましたが足掛け10年にわたる調査を行い、弥生時代後期から中世にかけての遺構がみつかるなど多大な成果をおさめることができました。これらの内容は本書で報告するところであります。

最後になりましたが、今回の発掘調査実施にあたり、多大なるご協力を賜った大阪芸術大学をはじめといたします関係諸機関、諸氏に深く感謝の意を表しますとともに、今後とも文化財保護行政に対して一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成10年9月

河南町教育委員会

教育長 福 田 惇 一

# 例 言

1. 本書は、大阪芸術大学グラウンド等造成工事に伴って実施した東山遺跡発掘調査報告書である。
2. 第1次調査は、河南町教育委員会事務局社会教育課木下光弘、赤井毅彦を担当者として、第2次調査は赤井毅彦を担当者として実施した。調査の期間は下記のとおりである。

第1次調査（外業）昭和61年11月～昭和62年4月（内業）昭和61年11月～昭和62年7月

第2次調査（外業）平成6年12月～平成7年7月（内業）平成7年1月～平成8年5月

3. 本事業に要した費用は、学校法人塚本学院が負担した。
4. 調査の実施にあたっては、次の諸氏の参加があった。記して感謝する。

（第1次調査）

赤松 圭子	市田 安男	伊東 清子	海蔵 敬子	要 美由紀	河崎 尚
川原 潤子	庄治しのぶ	田中須磨子	高原 義仁	辻 佳久	出崎 智嗣
徳田 正和	中津 陽介	野口 昌敬	原田 博史	東山 京子	平見千栄子
福井十美子	三浦みどり	宮野前 俊哉	山口 芳弘	山田 忠之	

（第2次調査）

宇野 絵美	梅崎 友恵	加藤 弘子	河合 道子	多田 恵子	樋口 尚美
前田 さや	吉田 淳子				

5. 本書で使用した遺物写真については、(財)大阪府文化財調査研究センターから提供を受けたもの以外は、有限会社阿南写真工房に撮影委託した。
6. 本書の執筆・編集は赤井が行った。
7. 本書の遺構実測図に表示する方位は特に断りのない限り国土座標第VI系に基づく座標北、標高はT.P.を使用した。
8. 94年度調査で使用した土色名は、農林水産省監修『新版 標準土色帖』1987年版による。
9. 調査の実施及び本書の作成にあたっては、下記の関係機関、諸氏に協力を受けた。記して謝意を表す。

大阪府教育委員会

大阪芸術大学

株式会社オオバ

株式会社長谷川工務店

池田貴則（太子町教育委員会）

学校法人塚本学院

株式会社浅沼組

前田建設工業株式会社・大成建設株式会社共同企業体

財団法人大阪府文化財調査研究センター

岩崎二郎（大阪府教育委員会）

北野耕平（神戸商船大学）

芝野圭之助（大阪府教育委員会）

西川寿勝（大阪府教育委員会）

森下 章（京都大学）

和田晴吾（立命館大学）

（順不同。所属は当時）

小林義孝（大阪府教育委員会）

鍋島隆宏（太子町教育委員会）

広瀬和雄（大阪府教育委員会）

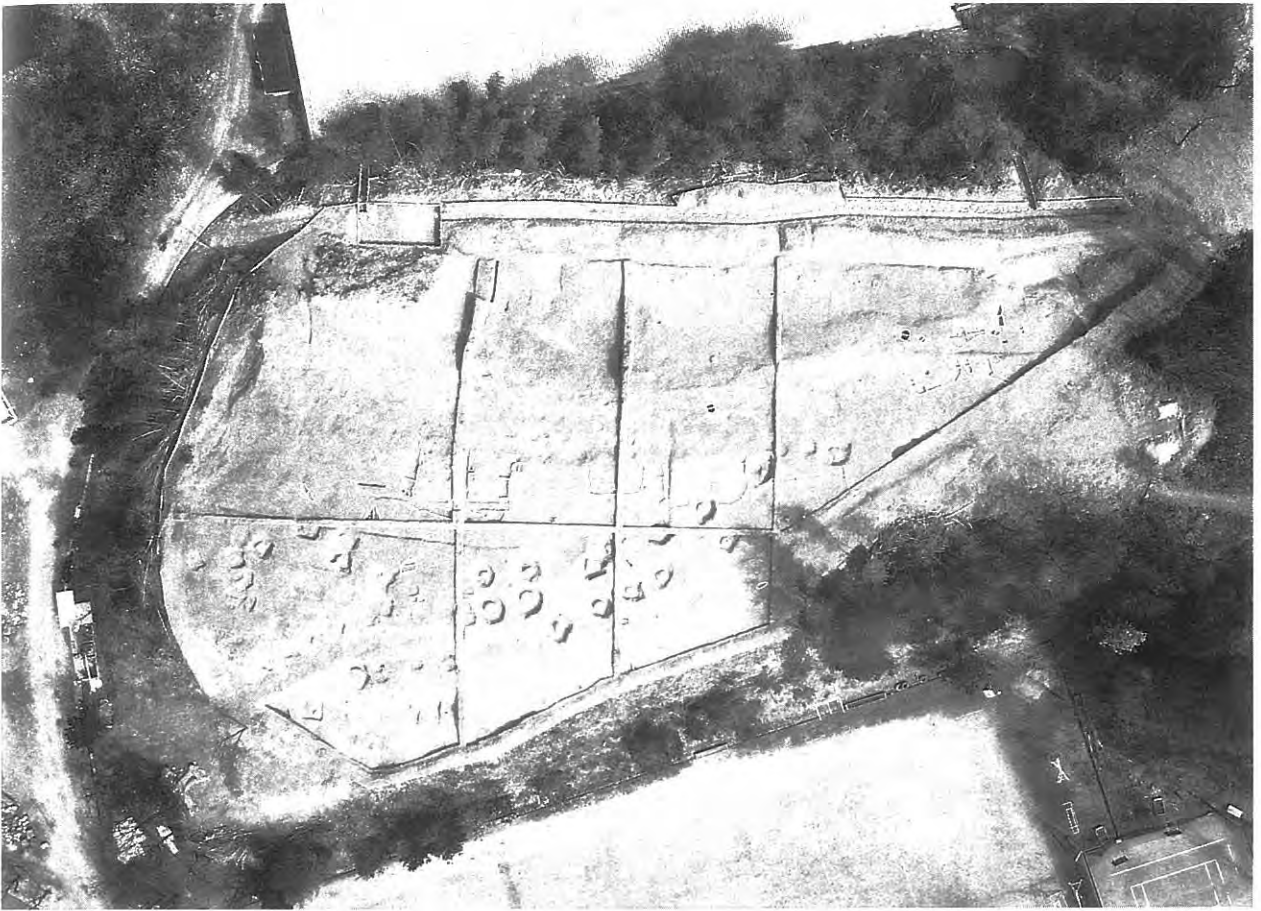
山本 彰（大阪府教育委員会）

10. 本調査における遺物、写真、カラースライド、実測図等は河南町教育委員会において保管している。

図

版





調査区全景



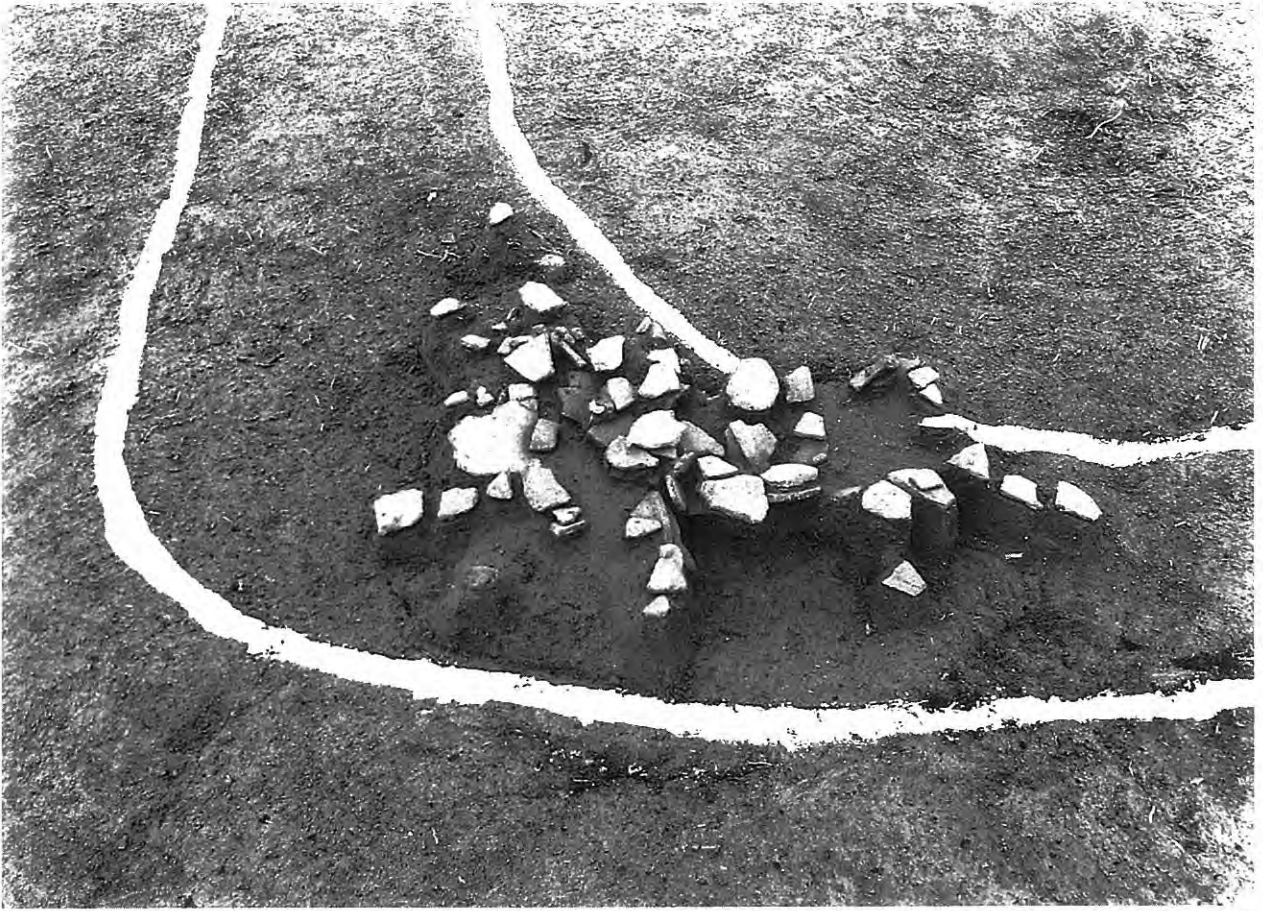
1~3号墳全景



1号墳検出状況（南から）



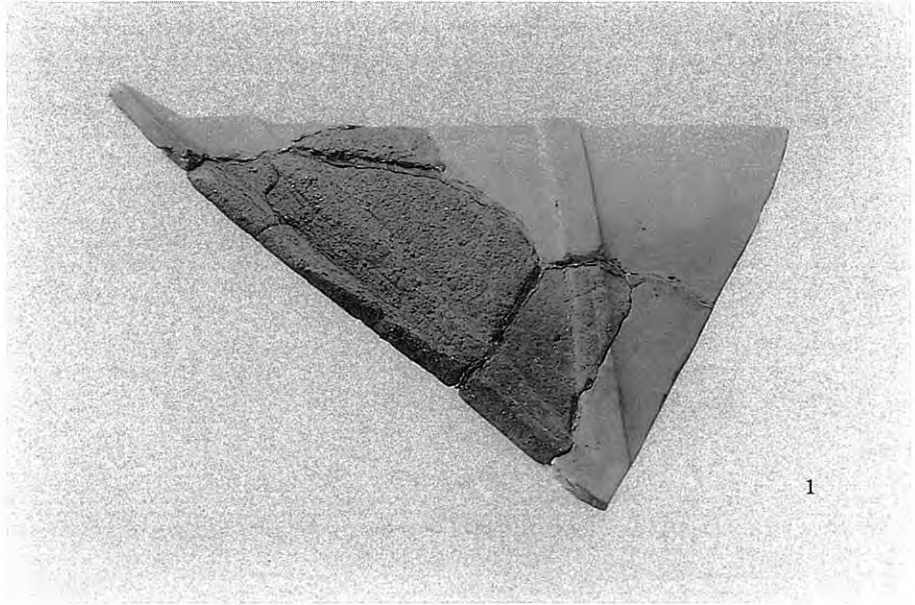
1号墳全景（南から）



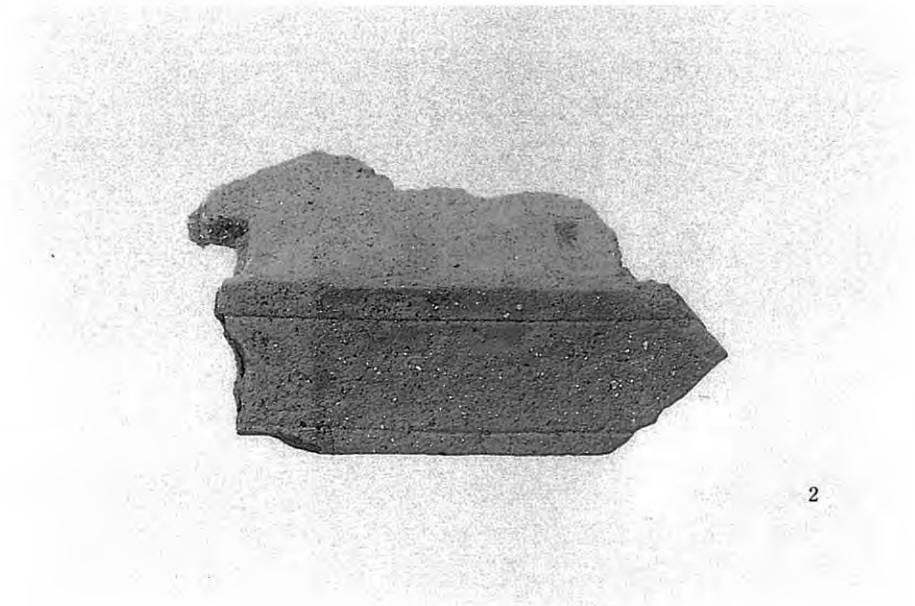
2号墳埴輪出土状況（南西から）



2・3号墳全景（南東から）



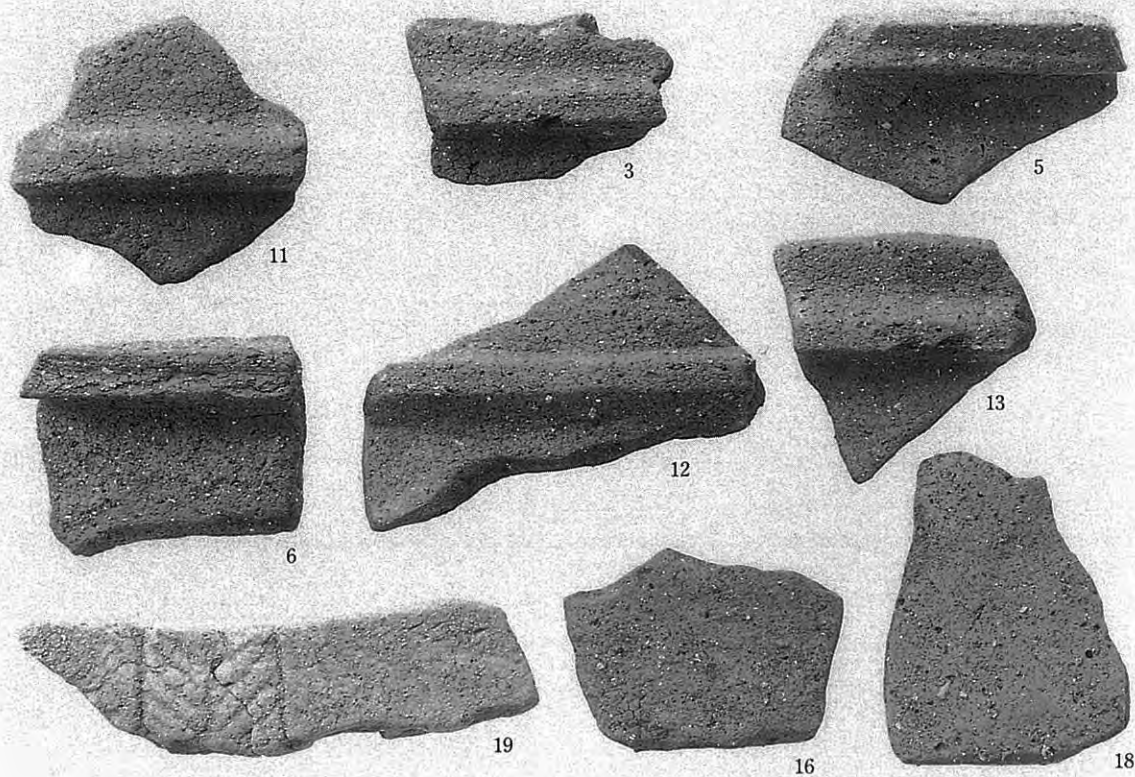
1号墳出土形象埴輪



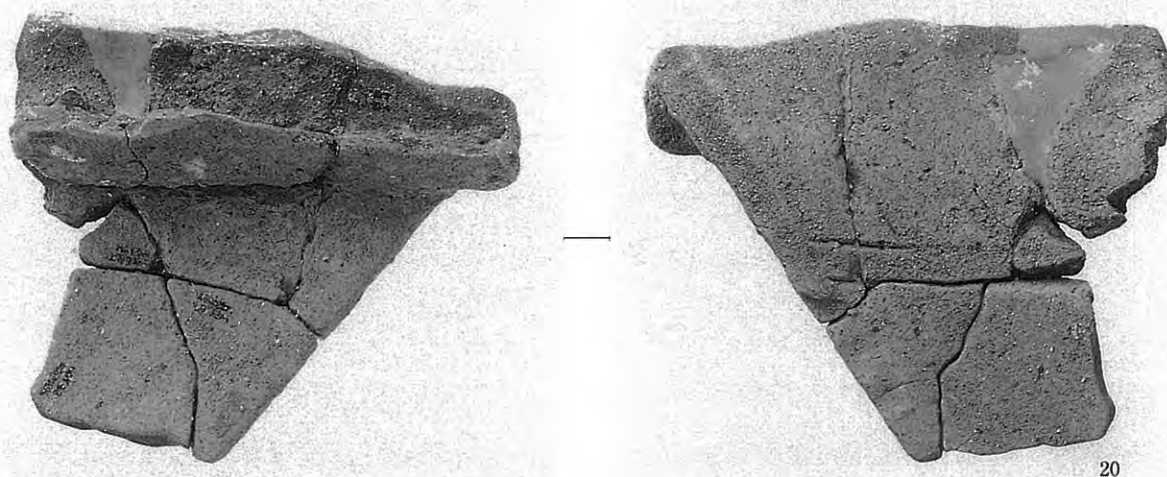
1号墳出土形象埴輪



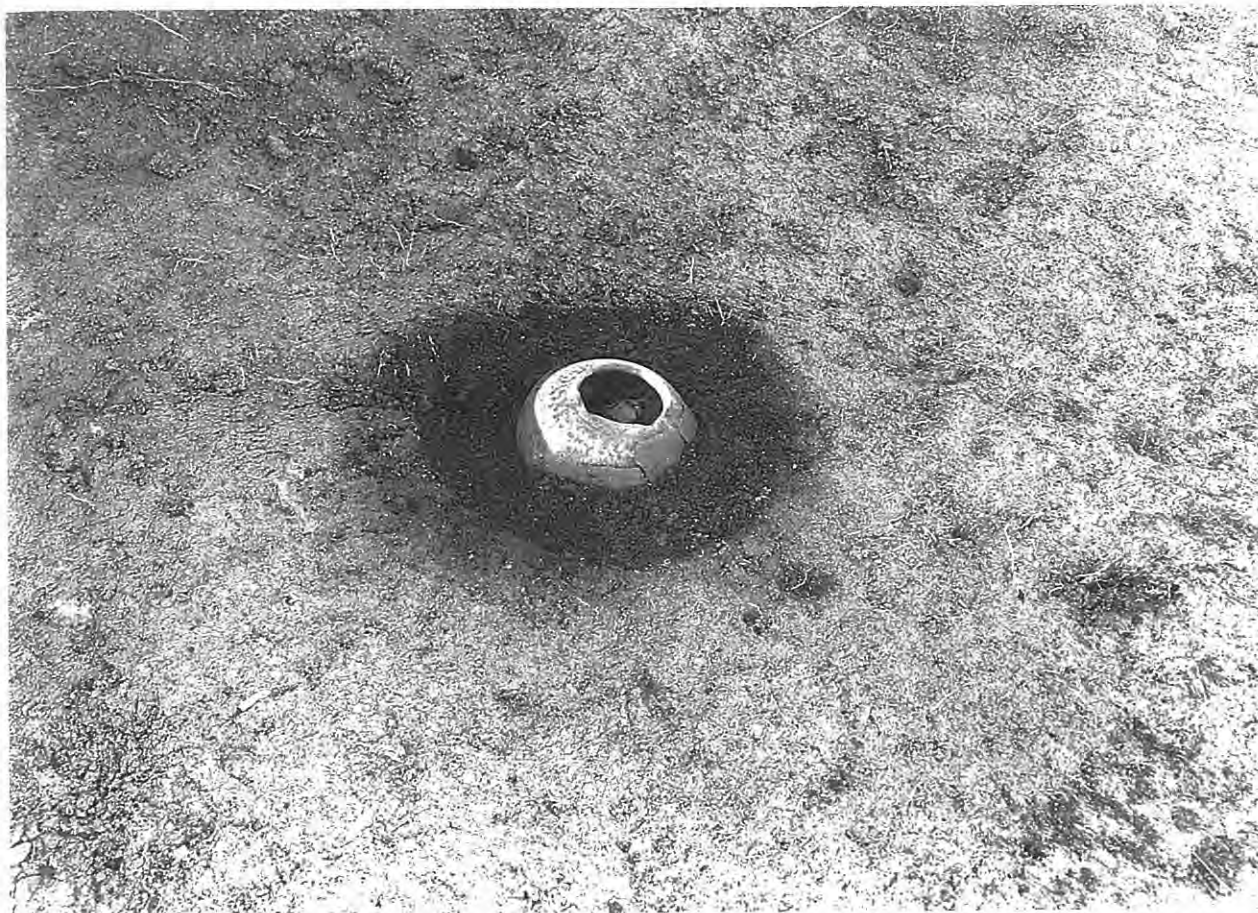
1号墳出土形象埴輪



2号墳出土埴輪



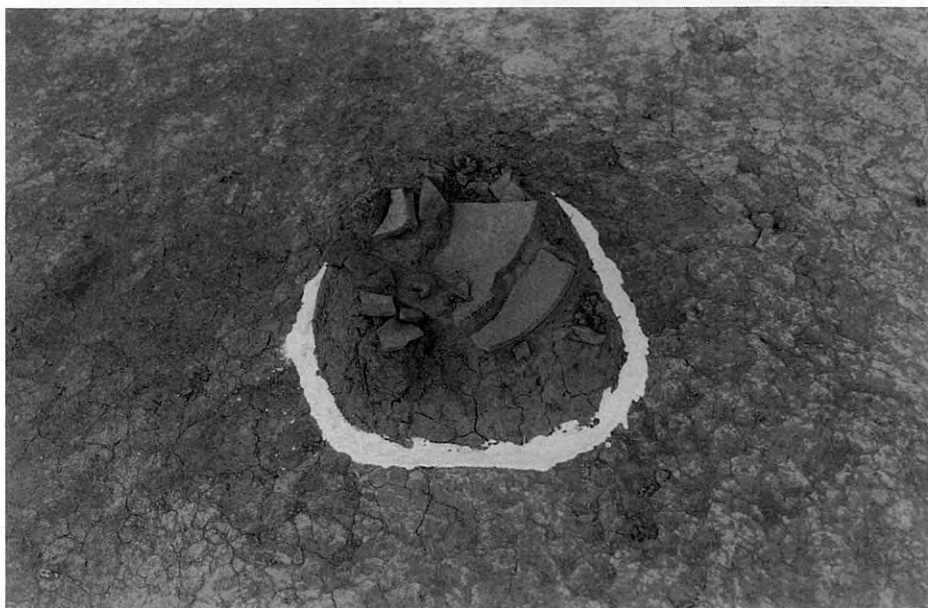
2号墳出土埴輪



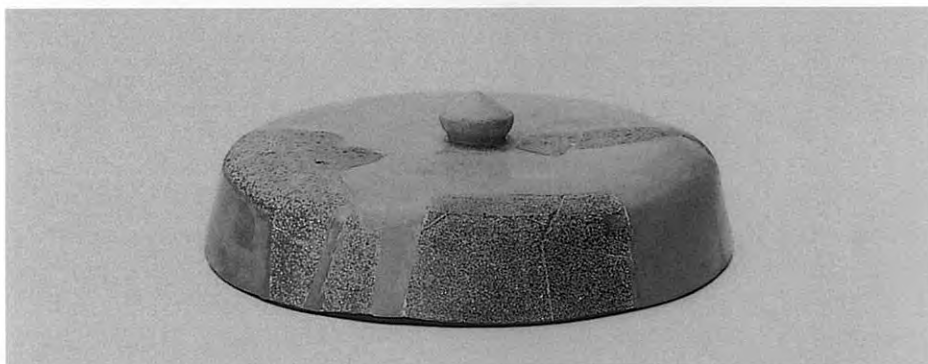
火葬墓検出状況（北東から）



火葬墓全景（北東から）



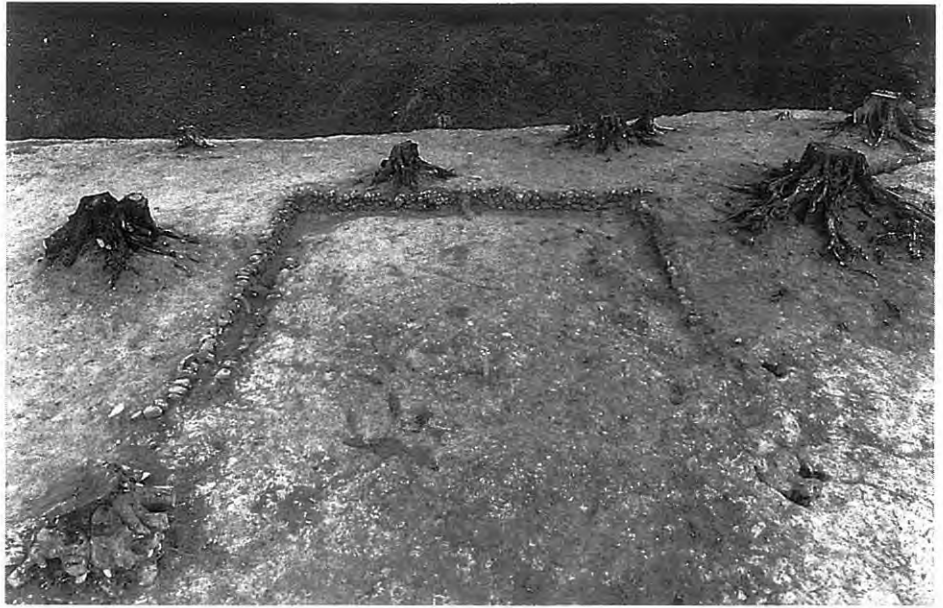
火葬墓検出状況（南から）



火葬墓蔵骨器蓋



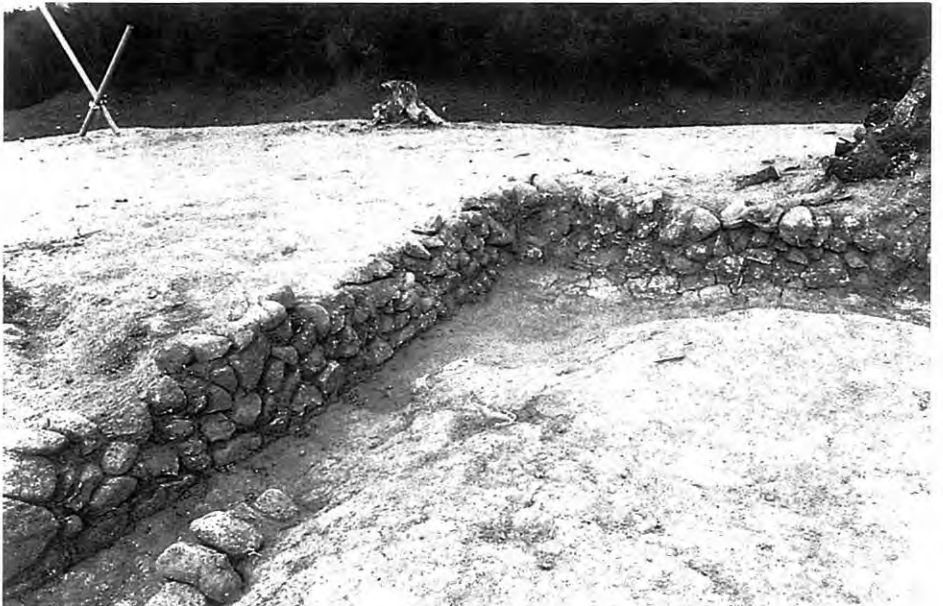
火葬墓蔵骨器



石組溝全景（南西から）



石組溝細部（南西から）



石組溝細部（南から）

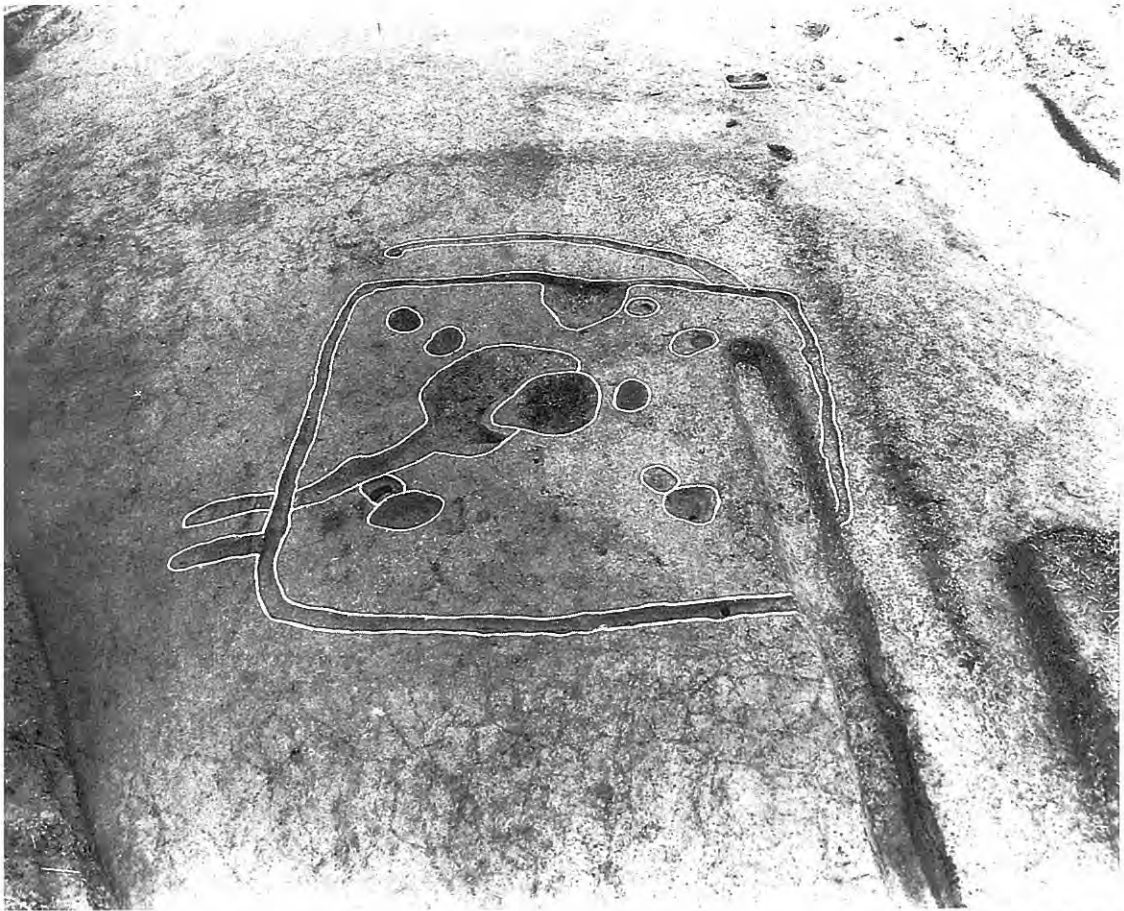




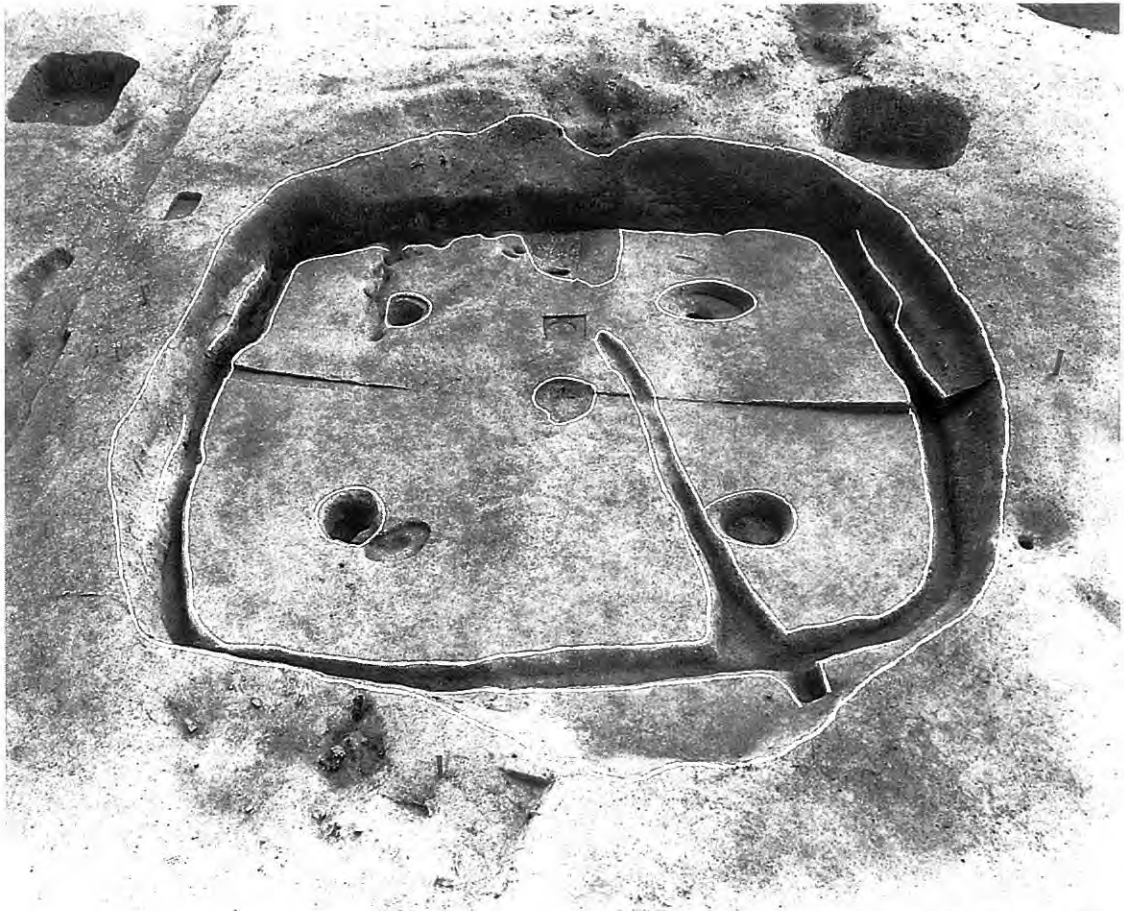
調査区全景（西から）



調査区全景

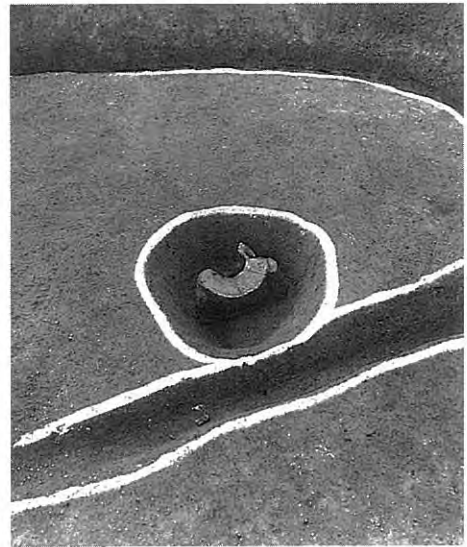
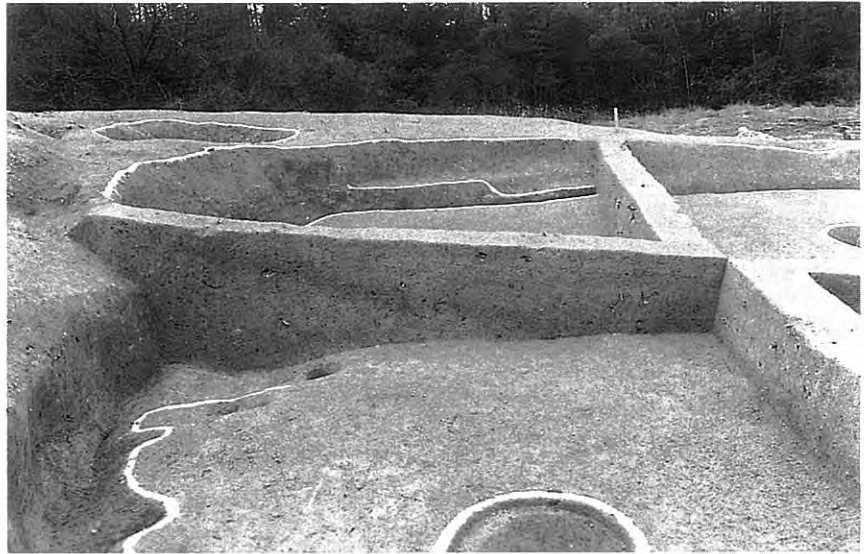


竪穴住居1全景（北西から）



竪穴住居2全景（北西から）

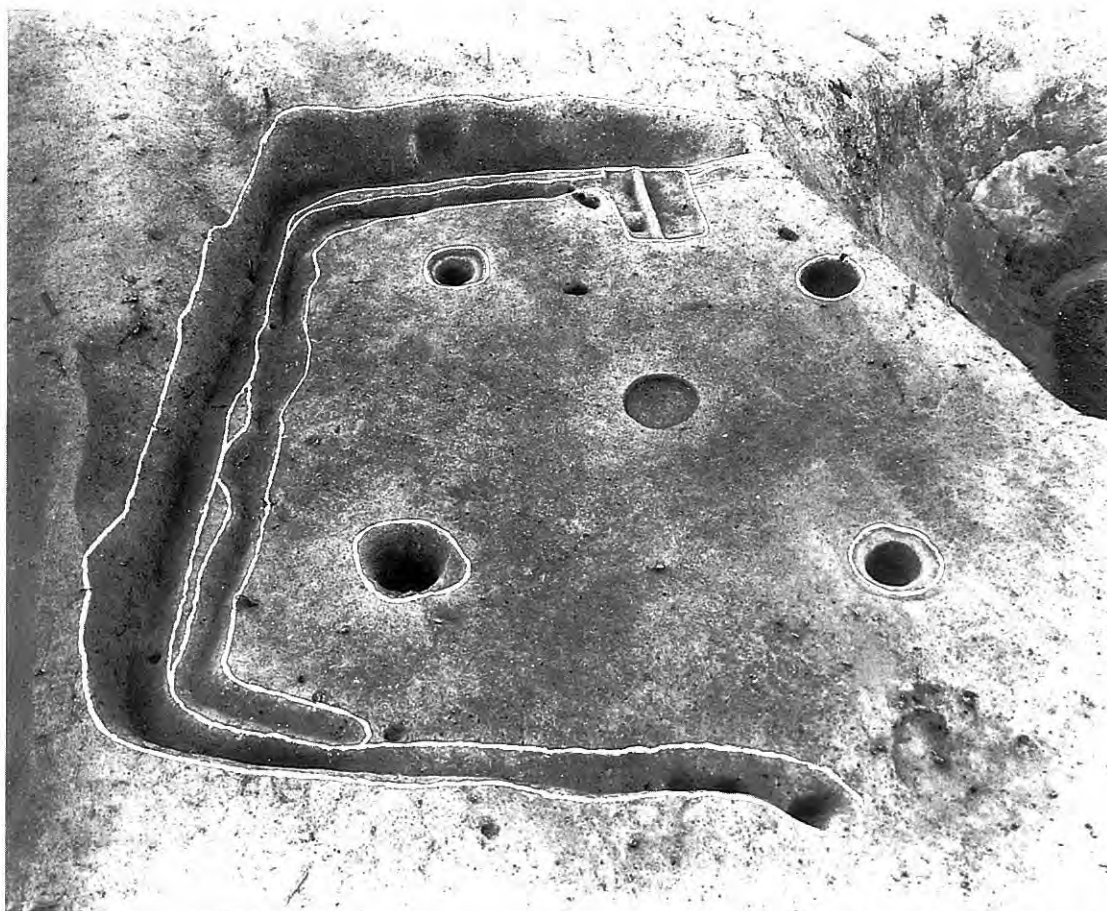
- 上右 竪穴住居2アゼ断面（北東から）
- 中左 竪穴住居2アゼ断面（南西から）
- 中右 竪穴住居2ピット  
遺物出土状況（北から）
- 下左 竪穴住居2出土遺物
- 下右 竪穴住居5出土遺物



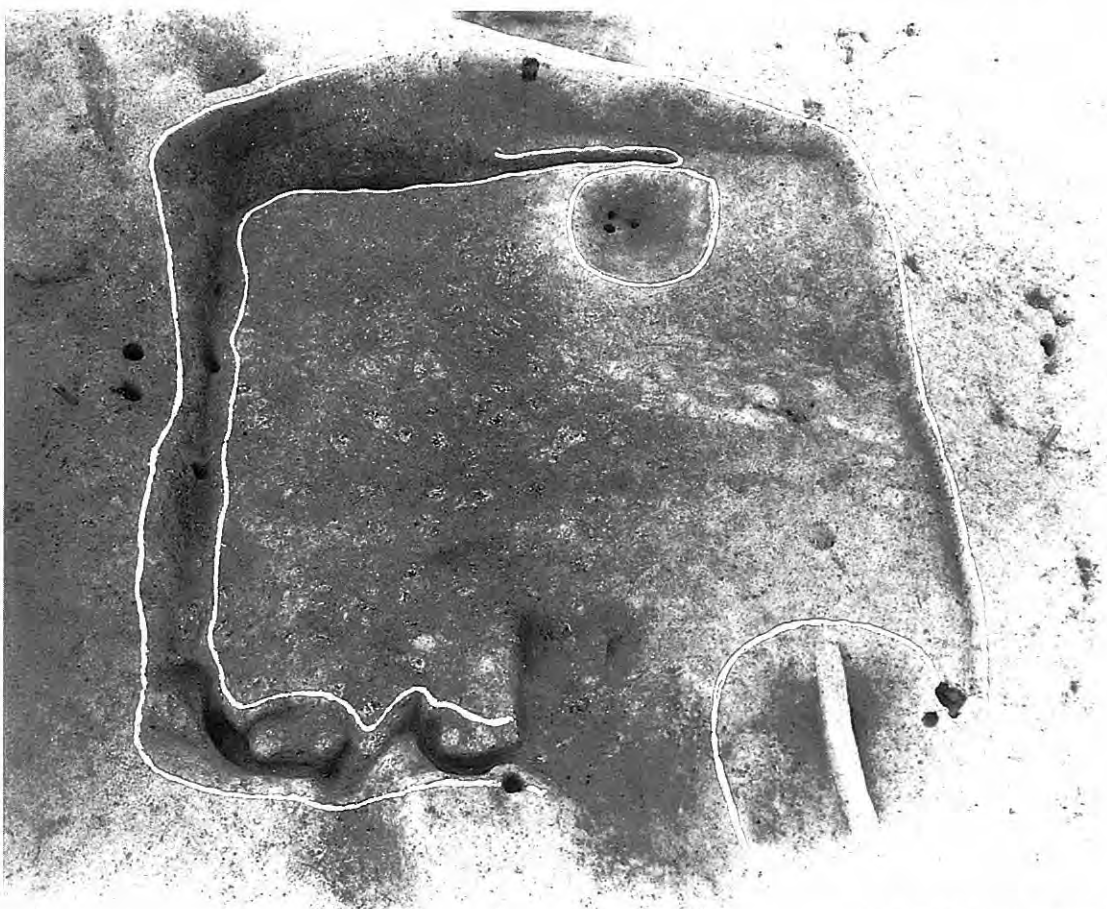
26



12



竪穴住居3全景（北西から）



竪穴住居4全景（北西から）



調査区全景（北東から）



調査区全景



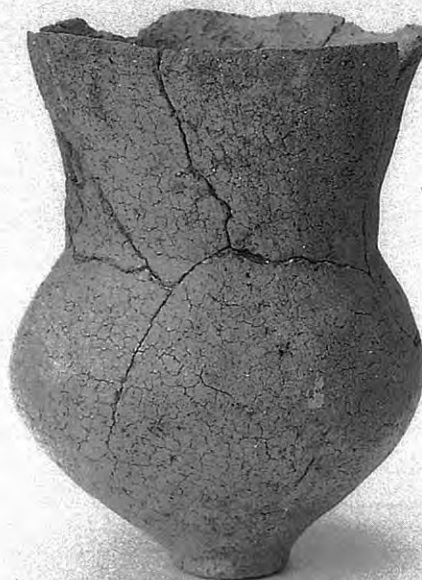
竪穴住居全景（北西から）



竪穴住居全景（北東から）



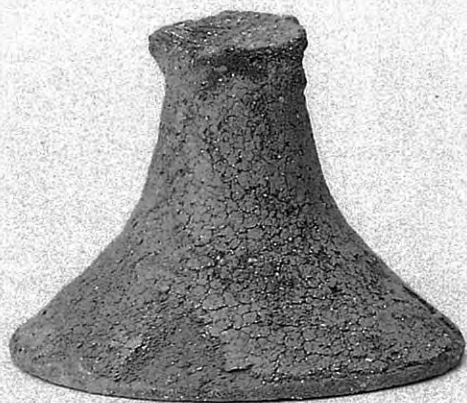
4



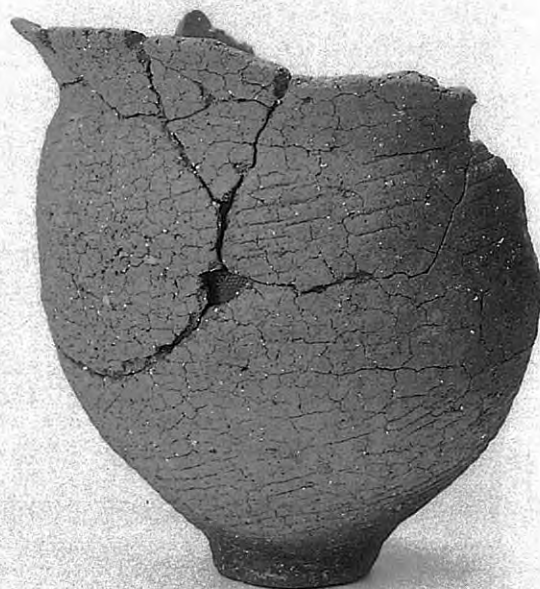
7

竪穴住居出土遺物

上左 床面、下左 炉  
上右・下右 アゼ下層



6



11



下層



中層



中層



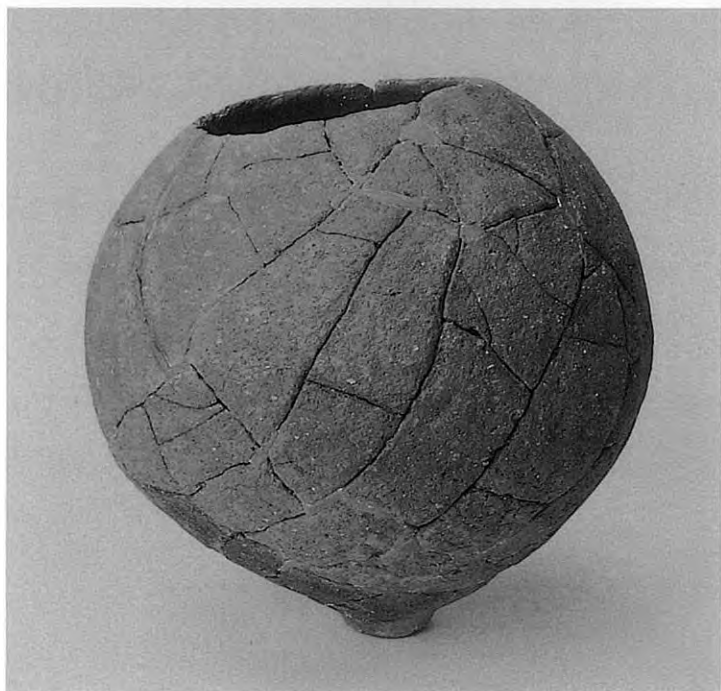
土器棺墓2 検出状況（東から）



土器棺墓2 完掘状況（南東から）

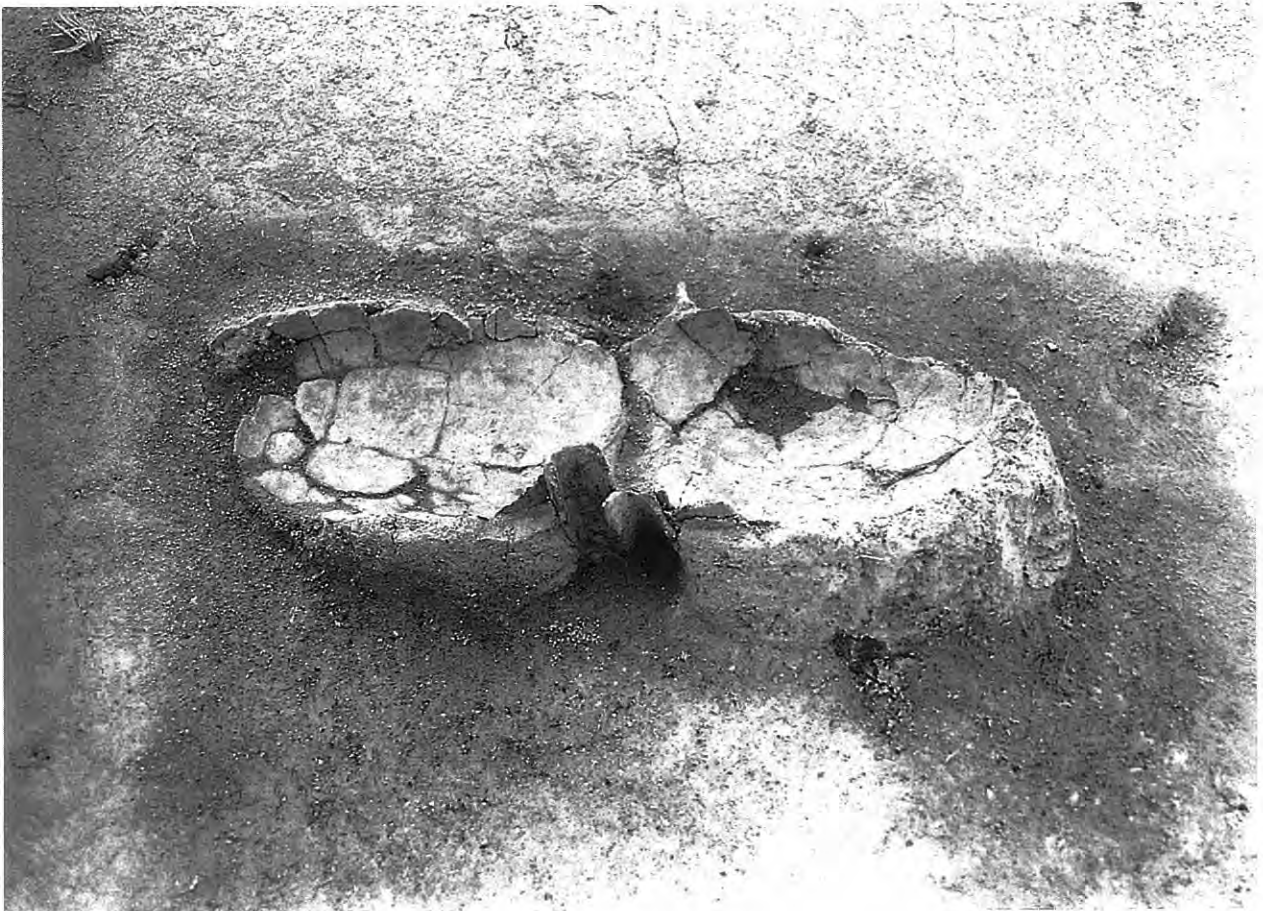


土器棺墓2 使用土器（身）

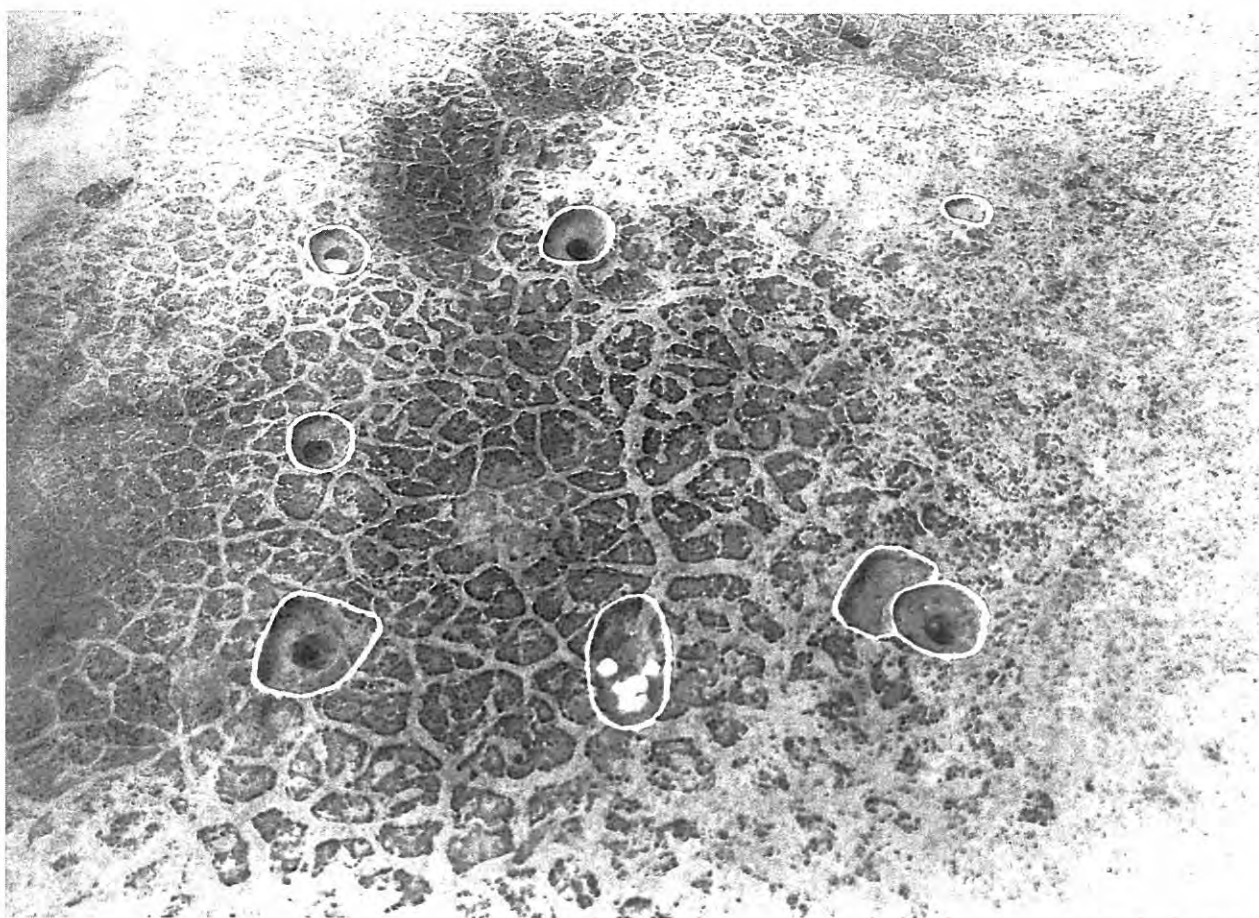




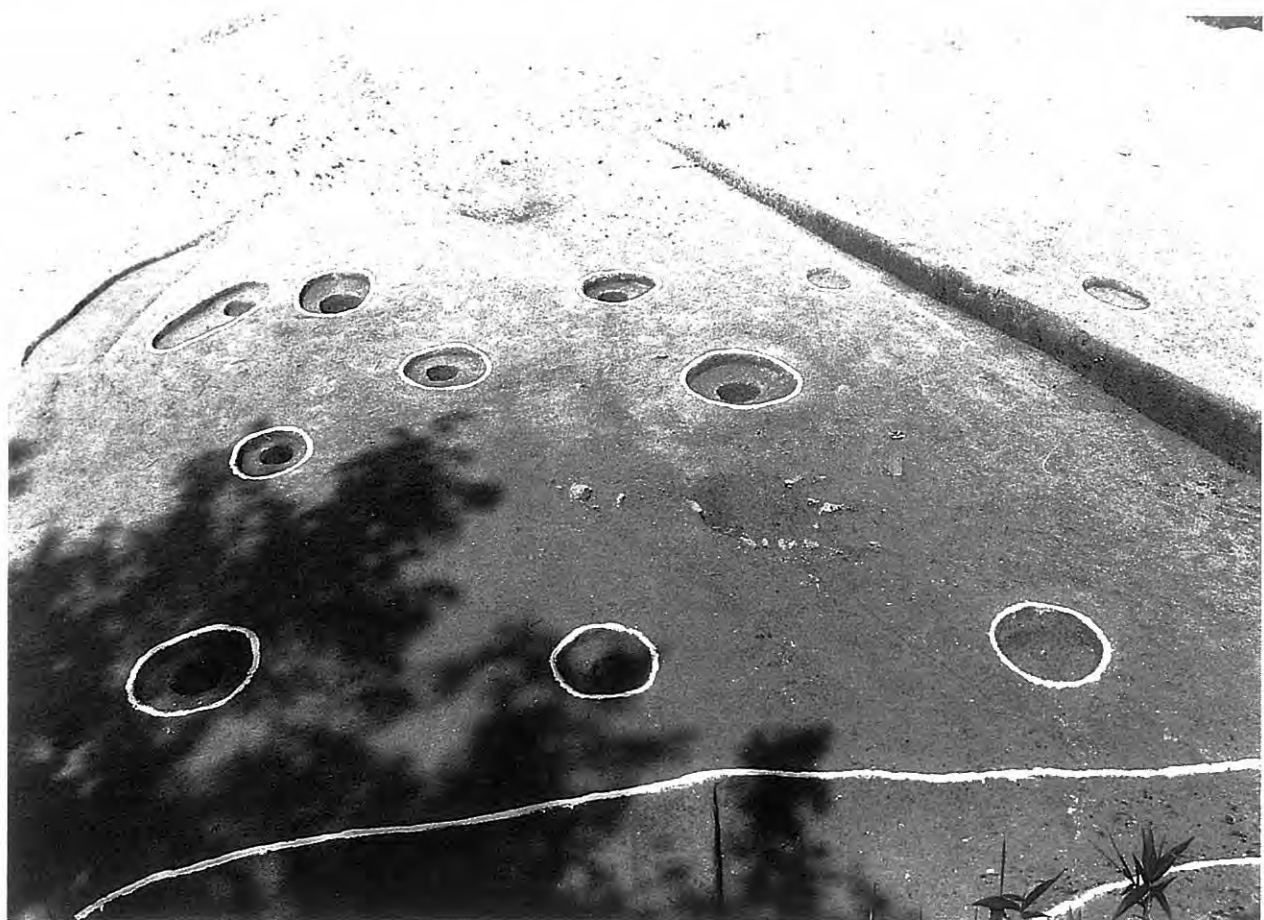
土器棺墓1検出状況（南東から）



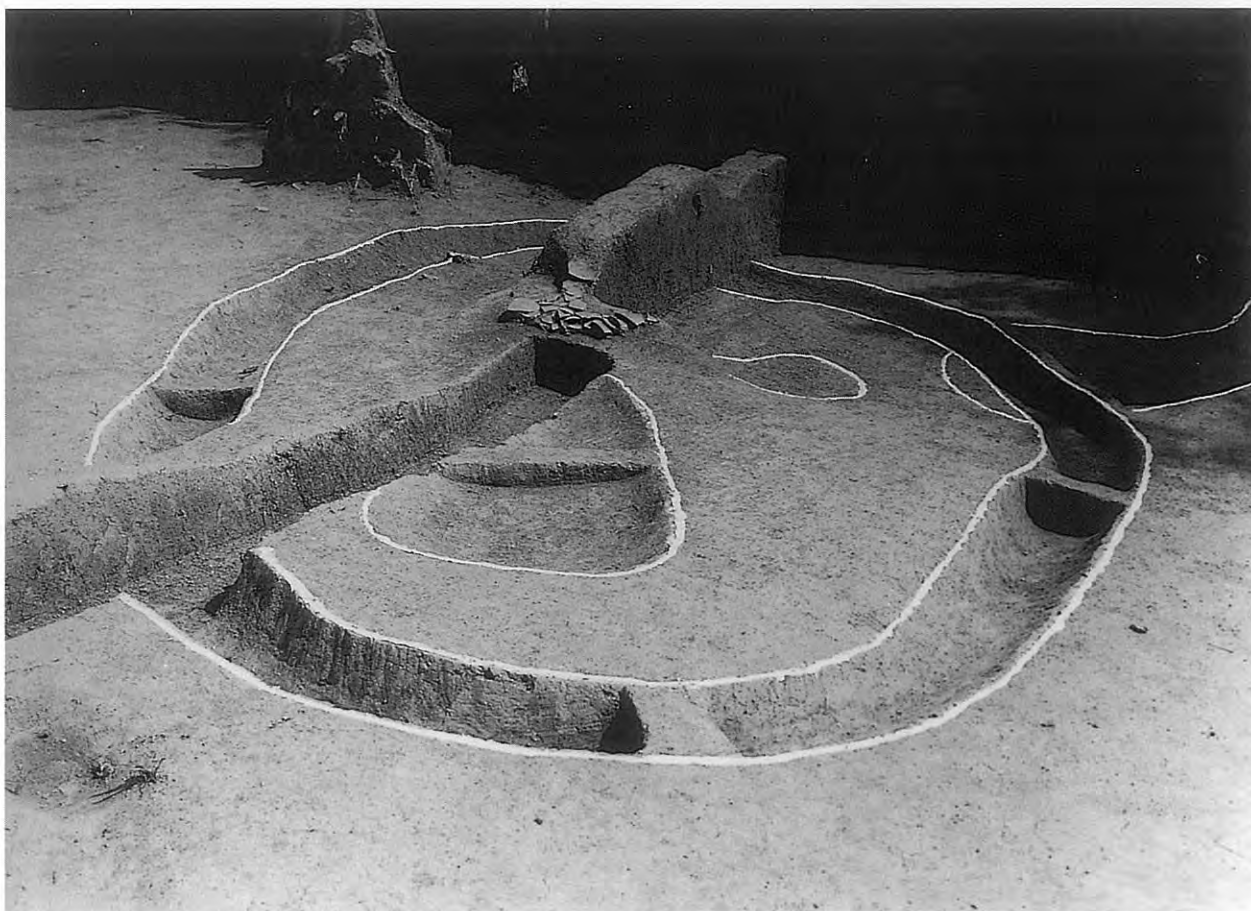
土器棺墓1完掘状況（南東から）



建物1全景（南から）



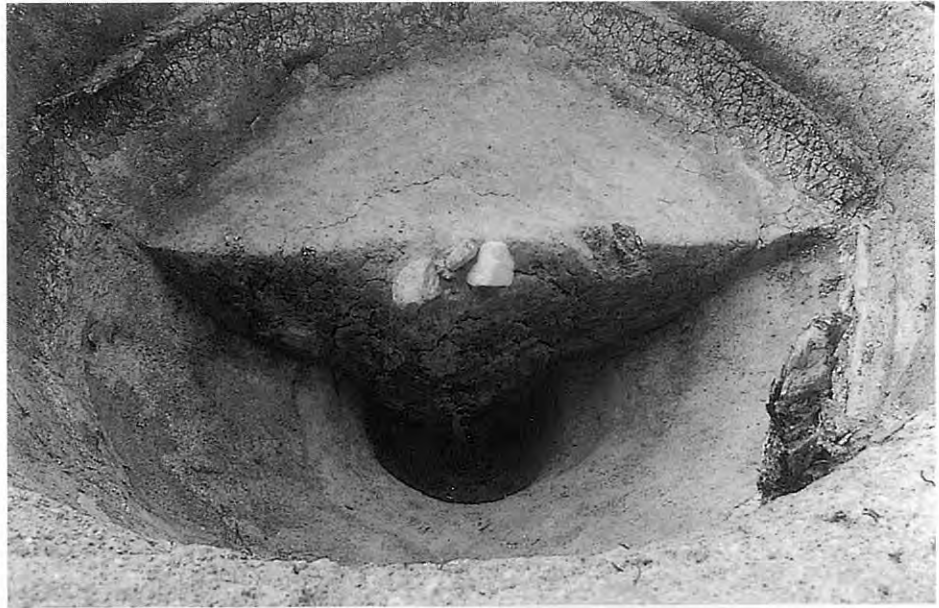
建物2全景（南西から）



円形周溝遺構全景（北東から）

円形周溝遺構  
下 遺物出土状況（東から）  
右 出土遺物





落とし穴全景（南東から）



落とし穴完掘状況  
（南東から）



落とし穴杭出土状況

# 報告書抄録

ふりがな	ひがしやまいせきはくつちようさほうこくしょ							
書名	東山遺跡発掘調査報告書							
副書名	大阪芸術大学グラウンド等造成に伴う							
巻次								
シリーズ名	河南町文化財調査報告							
シリーズ番号	第2冊							
編著者名	赤井毅彦							
編集機関	河南町教育委員会							
所在地	〒585-8585 大阪府南河内郡河南町大字白木1359番地の6 ☎ 0721-93-2500							
発行年月日	1998年9月7日							
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "			
ひがしやまいせき 東山遺跡 86年度調査区	おおさかふみなみかわちぐんかなんちょう 大阪府南河内郡河南町 おおあざひがしやま 大字東山	27382		34°	135°	1986.11	5,800	学校用地造成
				30′	38′	}		
				24″	08″	1987.4		
				34°	135°	1994.12		
				30′	38′	}		
94年度A調査区				25″	12″	1995.2	1,800	
94年度B調査区				34°	135°	1994.12	2,500	
				30′	38′	}		
94年度C調査区				22″	18″	1995.4	6,800	
				34°	135°	1995.3		
				30′	38′	}		
				21″	10″	1995.7		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
ひがしやまいせき 東山遺跡 86年度調査区	古墳 火葬墓	古墳時代 奈良時代	古墳 火葬墓	埴輪 須恵器・土師器				
94年度A調査区	火葬墓	奈良時代 近世	火葬墓 石組溝	須恵器 瓦				
94年度B調査区	集落遺跡	弥生時代 古墳時代	竪穴住居(5棟) 竪穴住居(1棟)	弥生土器・石鏃 土師器				
94年度C調査区	集落・土器棺墓・土墳墓	弥生時代～中世	竪穴住居・土器棺墓・土墳墓	弥生土器・鉄鏃・鏡・鉄剣・鉄斧・鉈・須恵器・土師器		鏡を副葬する古墳時代の土墳墓(2基)		